

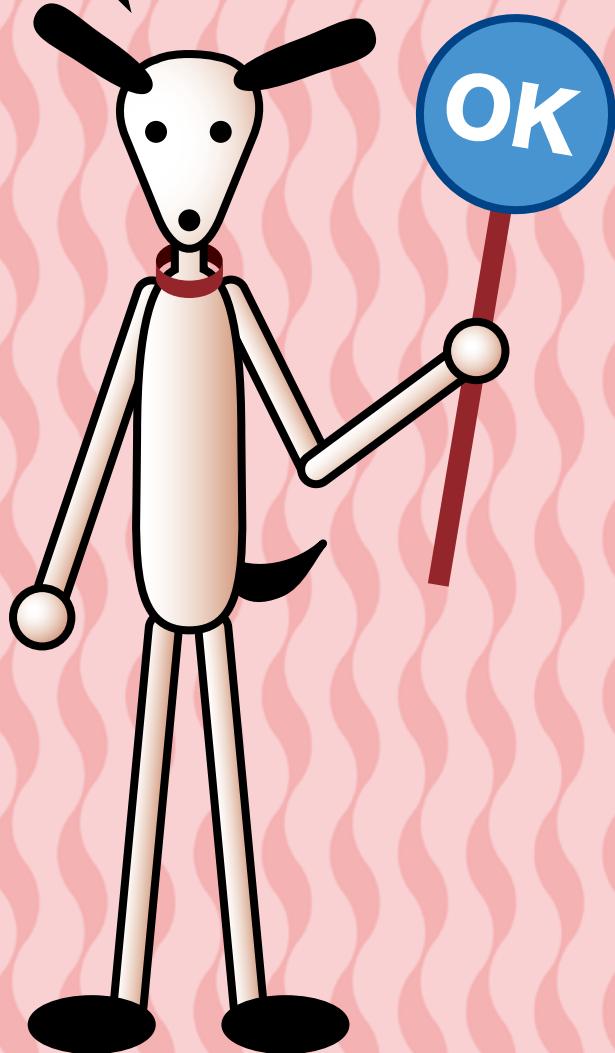
THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

FUJITSU

はじめてのブレード

解決!

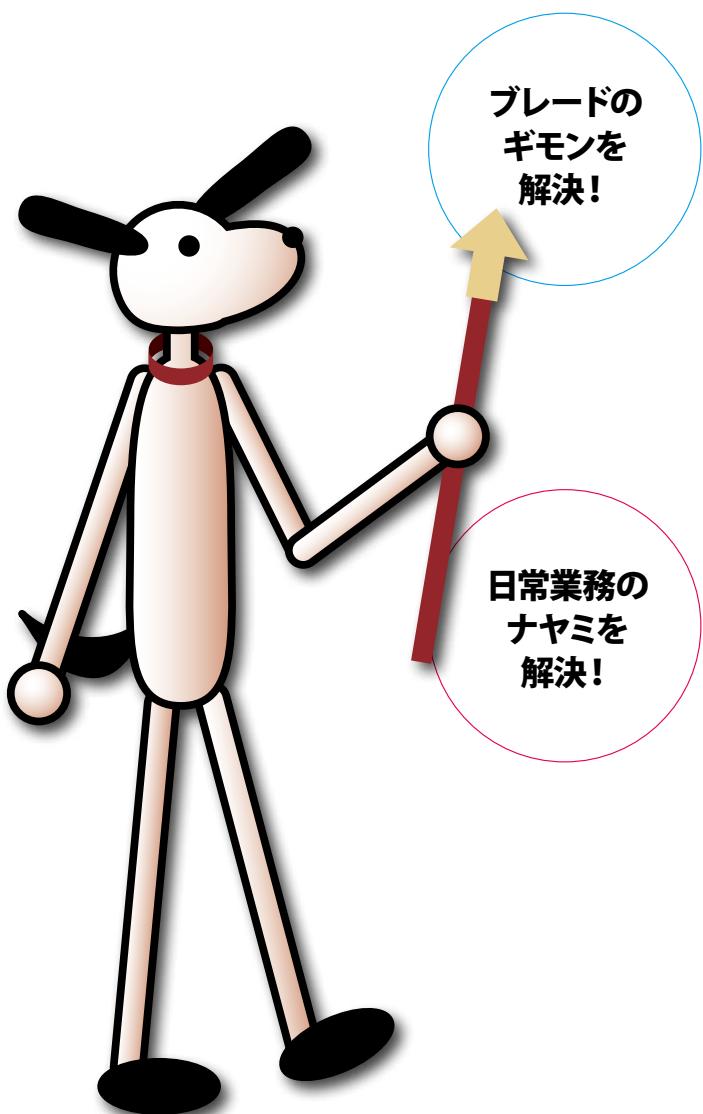
OK



ブレードサーバで “お困り”を解決！

最近よく聞く“ブレードサーバ”。興味があるけれど、ブレードサーバってなに？ どうやればいいの？ そんな、ブレードサーバの疑問にお答えします。

興味のある項目をたどれば、きっと問題解決に役立つ情報が見つかります。



ブレードサーバって？

オフィス冷房、100V電源でも使えるの？

サーバの集約はどうやるの？

ラック型サーバと、どう違うの？

サーバの増設や設定は簡単？

ブレードサーバのサポート体制はどうなっているの？

いろんなところにサーバが散在して…

開発・テスト環境の構築がタイヘンで…

運用管理やバックアップ、障害回復に苦労して…



ブレードサーバってなに？ まずは基本のおさらいから

P.04

サーバ専用スペースでなくても使える機種があります

P.06

ブレードサーバと仮想化技術におまかせ

P.10

基本は同じです。拡張性が違います

P.04

増設や故障復旧手順の自動化もできます

P.08

富士通ではITインフラの幅広い導入・運用支援体制を整えています

P.12

サーバを集約するにはブレードサーバが一番

P.06

仮想化によって手軽に構築できます

P.10

日常時の監視、故障時の復旧が簡単・迅速になります

P.08

P.04

ブレードサーバは
こんなに違う！

P.06

省スペース、
省電力でエコ！

P.08

保守・管理が
シンプルになり、
運用も楽！

P.10

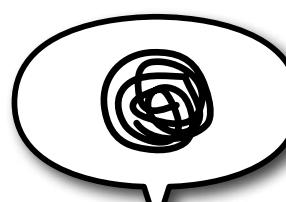
仮想化で
資産が活きる！

P.12

富士通の
導入／保守・
運用支援サービス

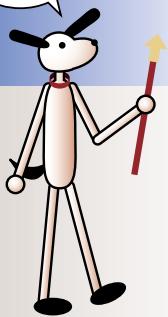
P.14

PCサーバ
PRIMERGY
ラインナップ



ブレードサーバは
こんなに違う！

ココ！



ブレードサーバって？



ラック型サーバと
どう違うの？



ブレードサーバはこんなに違う！

場所をとらずにエコ、高い保守性・運用性を手に入れられます

サーバの集約効率が高いのがブレードサーバです。

設置スペースや消費電力を節減できます。管理すべきハードウェアが一元化されることで、保守や運用の人的負荷も下がります。

**ブレードサーバってなに？
まずは基本のおさらいから**

ブレード形状のサーバを抜き差しできる構造です

シャーシに複数枚のサーバブレードを挿入する構造になっています。電源、FAN、スイッチなどはシャーシ側で共有されています。

ブレードの追加・交換は、特殊な工具不要

サーバブレードの交換には特殊な工具は必要ありません。保守やシステム変更の際の作業時間を大幅に削減することが可能です。

ブレードサーバの外観



シャーシ前面



シャーシ背面



サーバブレードの交換には
特殊な工具は必要ありません

基本は同じです。拡張性が違います

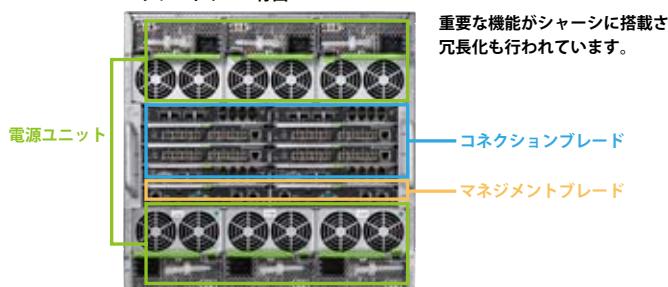
シャーシに重要な機能が搭載されています

ブレードサーバでは、電源、FAN、スイッチがシャーシに組み込まれています。多くのブレードサーバはシャーシに監視ハードウェアを搭載しており、シャーシ／サーバの電源状態、温度状態、OS動作状況の各種監視および制御を実施できます。

増設を考慮したシャーシの保守サポート延長

システム構築後にサーバブレードを追加すると、新しく増設したサーバブレードとシャーシの保守サポート期間がズれてしまいます。メーカーによっては、シャーシの保守サポート期間を延長して、長期間の運用が行える配慮をしています。

ブレードサーバ背面



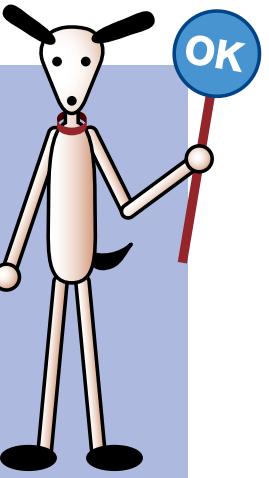
ブレード
サーバ
導入では、
ここに注意

設置場所の 床の耐荷重に注意

複数のブレードサーバを積み重ねるような場合、床が耐えられる最大荷重を超えることがあります。床の耐荷重を確認しておくとよいでしょう。

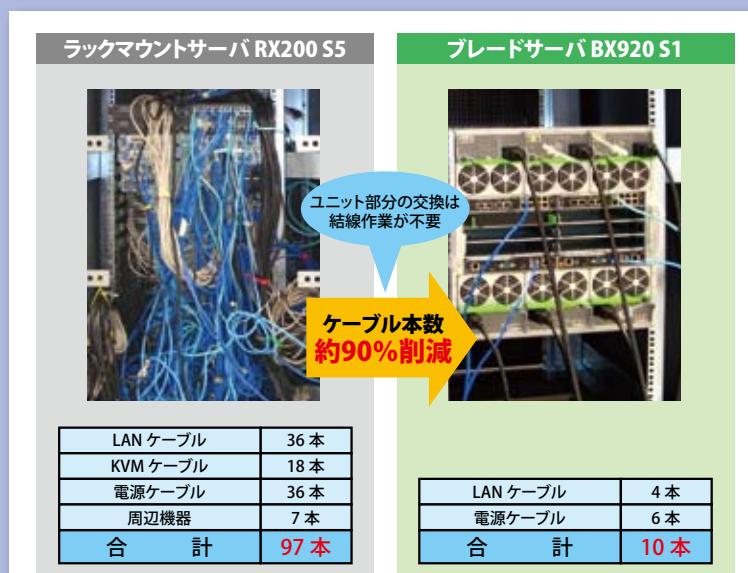
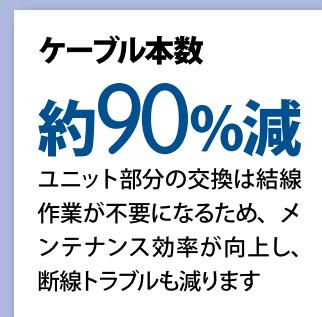
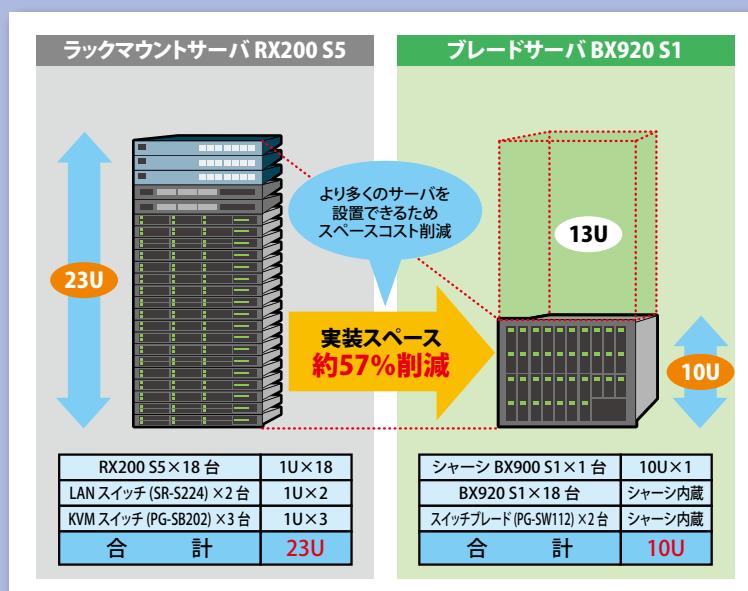
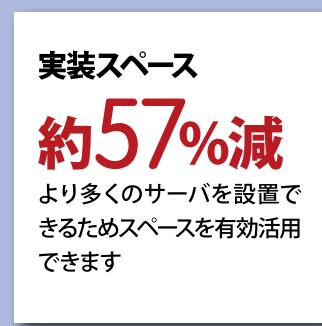
電源の容量と、 空調の容量にも配慮

低消費電力化したブレードサーバとはいえ台数が増えると、電源や空調の容量制限を超えことがあります。これらについても事前の確認が必要です。



数字で見るブレードサーバのメリット

ラックマウントサーバと比較した場合、ブレードサーバの削減効果は目に見て実感できます。



富士通のブレードサーバは、ここがポイント！

環境に応じた自動制御

富士通のブレードサーバには、稼働状況に応じて消費電力の低減を図る自動制御が組み込まれています。

・リニアFAN制御

室温・装置内の温度・負荷状態をリアルタイムに監視し、最適な FAN 回転数に制御します。また、装置内のブレード動作状況により、動作中ブレードの後方の FAN 回転数は高く、停止中のブレード後方の FAN 回転数は低くするといった高度な制御を行うことで、一層の消費電力の低減を図っています。

・PSU制御

サーバブレードの動作枚数が少ない場合など電源ユニットを全て動作させる必要が無い場合に、不要な電源ユニットを停止させることで消費電力の低減を図っています。



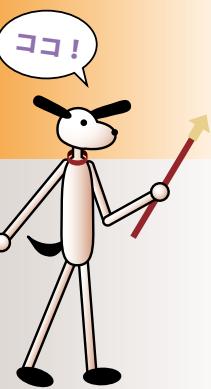
省スペース、省電力でエコ！

サーバ増設・サーバ集約のどちらにも、ブレードサーバがお勧め

増え続けるサーバ対策の決め手になるのがブレードサーバです。
ブレードサーバは、シャーシとブレードの役割分担に特長があります。
オフィススペースに置けるブレードサーバにも注目です。

P.06

省スペース、
省電力でエコ！



いろんなところに
サーバが散在して…



OK

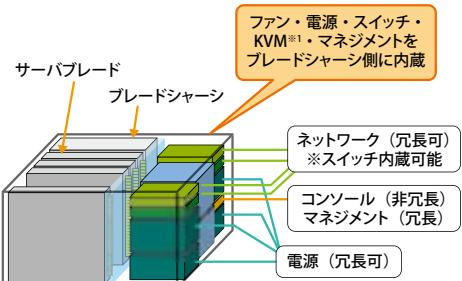
サーバを集約するにはブレードサーバが一番

ブレード移行で、設置面積と消費電力を削減

ブレードサーバはコンポーネントの共有化により、省スペース化と消費電力の削減を図っています。多数のサーバをラック搭載する方式に比べて、サーバの軽量化やケーブルの本数も削減されます。

ハードウェア一元化と遠隔管理機能で運用負荷を軽減

共有モジュール化、電源・I/Oケーブルレス化、ホットプラグ化が徹底されており、サーバ台数にかかわらず、保守作業時間は削減されます。管理ハードウェアが一元化されているので運用効率が上がり、遠隔地からの一括運用も容易になります。



*1KVM：キーボード・ビデオ・マウスの略

オフィス冷房、
100V電源でも使えるの？



オフィス設置可能なブレードサーバでは…

一般的なオフィスの電源環境に合った100V電源ブレードシャーシ。

低騒音型ラックでブレードサーバの騒音を最大10dB低減。

セット標準構成でLTOテープライブラリによるデータバックアップ運用を実施。万が一の場合でも、システム環境・データを復元可能。



サーバ専用スペースでなくとも 使える機種があります

オフィススペース向きのブレードサーバ

小規模なブレードサーバの中には、100Vの商用電源で動作し、通常のオフィス空調の環境下でも使用できるものがあります。部門レベルや小規模なサーバ統合でもブレードサーバを採用できます。

低騒音やバックアップ対応など 特長ある製品

従来より約10dBほど低騒音化した製品や、LTOテープライブラリによるデータバックアップ対応の製品など、特長のあるブレードサーバが登場しています。ブレードサーバは、設置場所や用途に合わせた選択肢が広がっています。

集約メリットのあるブレード枚数とは？

ブレードサーバでは、サーバ台数が増えるにつれて集約メリットが大きくなります。例えば消費電力の観点では、ラックサーバよりブレードサーバの方が有利になるのは、ブレード4枚程度からです。

ブレード
サーバ
導入では、
ここに注意

電力の上限制御機能は付いていますか？

事前に消費電力を設定しておき、設定値を超えた場合には特定のサーバブレードの電源を自動的に落として、許容電力の範囲内で運用できる製品があります。電力の余裕がない環境で欲しい機能です。

数字で見るブレードサーバのメリット

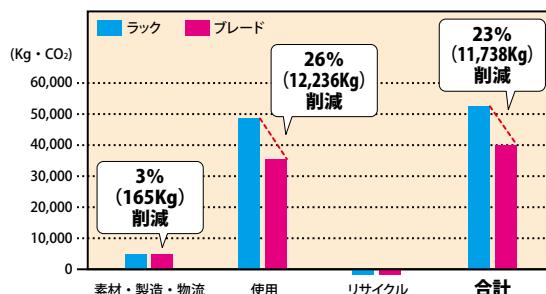
ブレードサーバは、CO₂排出量の削減、サーバ増設時間や故障時復旧時間を短縮できます。

CO₂排出量

約23%減

消費電力効率が向上。CO₂排出量を削減できる、環境に優しい設計です。^(*)

ラックサーバ 10 台とブレードサーバ 10 台の
CO₂ 排出量比較



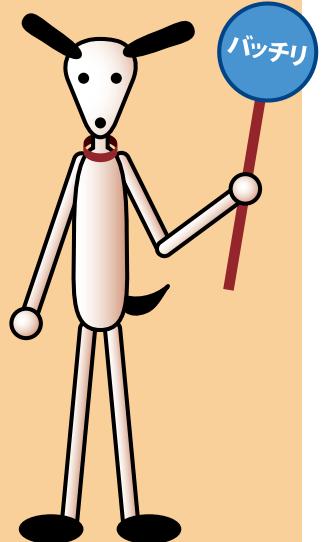
「素材・製造・物流～使用(5年間24時間365日)～リサイクル」までを、当社独自のLCA(ライフサイクルアセスメント)プログラムにより算出

サーバ増設時間

約90%減

従来の約 10 分の 1 の時間でサーバ増設が完了するため、急激な負荷増大、業務拡張にもスピーディーに対応できます。^(*)

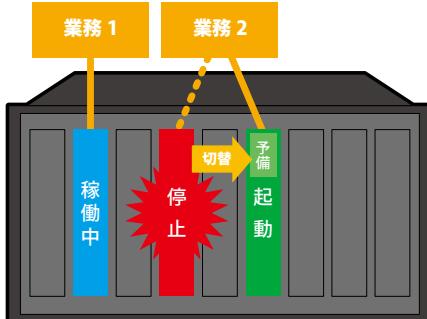
各作業を自動で実施



故障時復旧処理時間

約75%減

故障を検知した時は、従来の約4分の1の時間で予備サーバへ自動切替します。^(*)



*1：ラックマウントサーバ（PRIMERGY RX200 S3）とブレードサーバ（PRIMERGY BX620 S4）を各10台使用した時のCO₂排出量比較
*2：サーバ2台の増設時間をServerView Resource Coordinator VE未導入時と比較した場合

*3：ServerView Resource Coordinator VE未導入時と比較した場合
所要時間について：所要時間は当社で想定したシステム要件に基づいた結果です。実際のシステム要件によって個々に異なります。

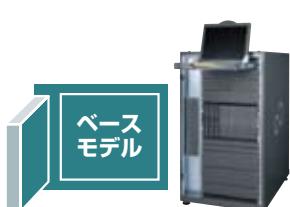


富士通のブレードサーバは、ここがポイント！

はじめてのブレードサーバ導入でも安心PRIMERGYかんたんブレードセット

15,000件以上の商談事例に基づいて構成した4つのセットモデルをラインナップ。

規模や用途に合わせてお選びいただくだけで、最適なシステムを素早く実現できます。



ベースモデル
タワー/ラック型サーバと同じ使い勝手で、
ブレードサーバをかんたん導入



コンパクトモデル
100V電源+低騒音型ラックで
オフィス設置も考慮
※4 +安心バックアップ運用



バックアップモデル
サーバ集約のスタンダード構成
+安心バックアップ運用



自動リカバリー モデル
障害時の予備機自動切替で、
業務の継続性を実現

保守・管理がシンプルになり、運用も楽！

運用管理の機能が充実したブレードサーバを選びましょう

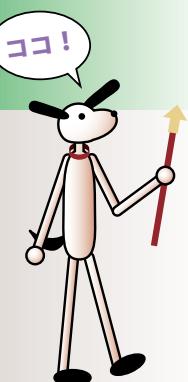
サーバの総コストに占める要員コストは約40%といわれています。ハードウェアが一元化されるブレードサーバでは、運用管理を効率化する仕組みや運用手順の自動化などで、要員コストの低減に大きな効果を得られます。

サーバの増設や設定は簡単？

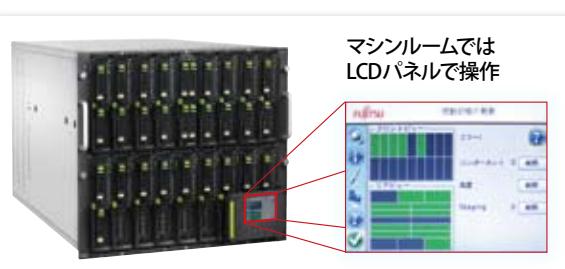


P.08

保守・管理が
シンプルになり、
運用も楽！



運用管理やバックアップ、
障害回復に苦労して…



ブレード
サーバ
導入では、
ここに注意

目利きは“運用管理”で選ぶ

サーバの増設や交換、サーバ障害の特定から予備サーバへの短時間での切り替えなど、ブレードサーバに特化した運用管理ソフトウェアが重要です。メーカーごとの機能の違いを比較しましょう。

電力消費量も監視できます

シャーシ全体の電力消費量をリアルタイムに表示するパワーモニター機能を搭載した機種があります。現在の消費量や履歴を時系列でグラフ表示することで、電力制御だけではなく環境への配慮にもつながります。

増設や故障復旧手順の自動化もできます

ホットプラグでサーバブレードを増設

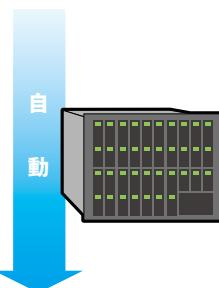
ブレードサーバの多くは、稼働中のシステムを停止させることなく、サーバブレードをシャーシに差し込むだけで増設が可能です。予備のサーバブレードをあらかじめ装着しておけば、サーバ増設に要する時間を短くできます。

故障復旧手順の自動化

サーバのトラブル時のシステム復旧時間や手順の削減のため、サーバの故障検出から予備サーバ起動まで一連のサーバ切替え手順を自動化できます。サーバの設定変更だけで切替発生直前のデータを予備サーバに引き継ぎ起動させることができるために、故障復旧時間を短縮できます。

サーバ切替え手順

- ❶ 異常検出
- ❷ サーバ停止
- ❸ ネットワーク切替
- ❹ ストレージ切替
- ❺ 予備サーバ起動
- ❻ サーバ起動確認



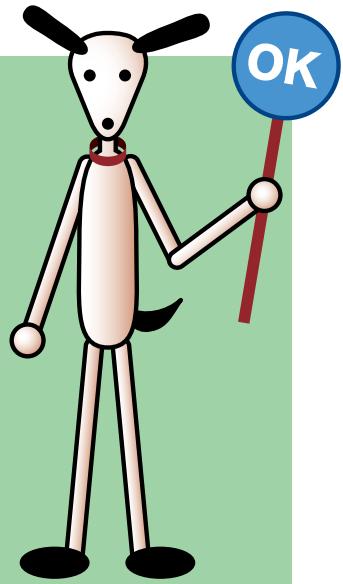
日常時の監視、故障時の復旧が 簡単・迅速になります

ブレードサーバを一元的に「見える化」

ブレードサーバのなかには、シャーシに搭載したLCDパネルによってサーバ状態の確認と操作が可能な機種があります。LCD画面を見ながらマシンルーム側と会話する状況でも、「見える化」による正確な状況判断、誤操作防止等に役立ちます。

運用管理の自動化機能があると、さらに楽

運用管理ソフトウェアによっては、障害時のサーバ切り替えなどの手順を自動化できます。予備サーバを用意し、サーバ故障時に自動的に切り替えることでダウンタイムを短縮できます。



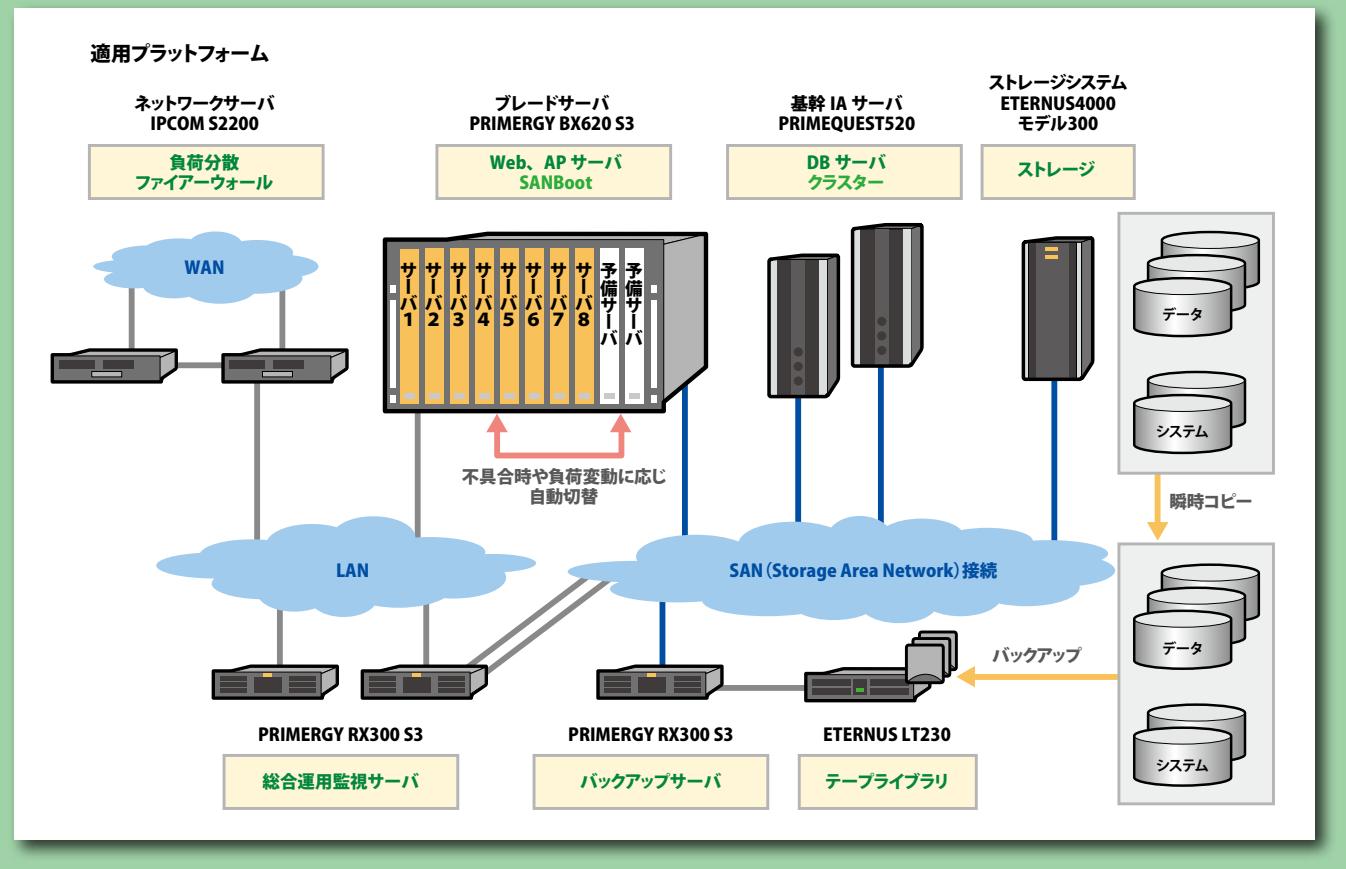
事例で見るブレードサーバのメリット

ブレードサーバで、コストを抑えながらのインフラ最適化 T株式会社様

T株式会社様は、日本版内部統制への対応と営業の業務改革を推進するために、営業業務支援システムを再構築しました。新システムのインフラには、将来の企業成長も見据えてブレードサーバを採用。「コンパクトにしてランニングコストを抑えながらスケールアウトを実現したい」というのがブレードサーバを選択した理由です。

サービスを止めない可用性要件を満たすために、コスト面も考慮しながらN+1の冗長性を実現するためにSAN Bootの仕組みを取り入れました。

バッチやバックアップの自動運用では、ジョブスケジュールツールSystemwalker Operation ManagerやSystemwalker Centric Managerでエラーメッセージの自動通知等による監視の自動化を実施。ServerView Resource Coordinator VEとの組み合わせにより、不具合時のサーバ自動切換などを自動化し、人的な運用コストの削減も図っています。



富士通のブレードサーバは、ここがポイント！

ブレードサーバの特性を活かす
運用管理ソフトウェア
ServerView Resource Coordinator VE

ブレードサーバのシャーシレベルの稼働監視から、システムの安定稼働、効率的なシステム運用、管理者の負荷軽減を実現します。



仮想化で資産が活きる！

サーバ運用の自由度と、将来への継続性を得られます

1台のサーバが、複数台のサーバと同じ働きをするのが仮想化です。
ブレードサーバと仮想化をセットで導入すると、
ITインフラのスリム化・効率化を、さらに推進できます。

サーバの集約はどうやるの？



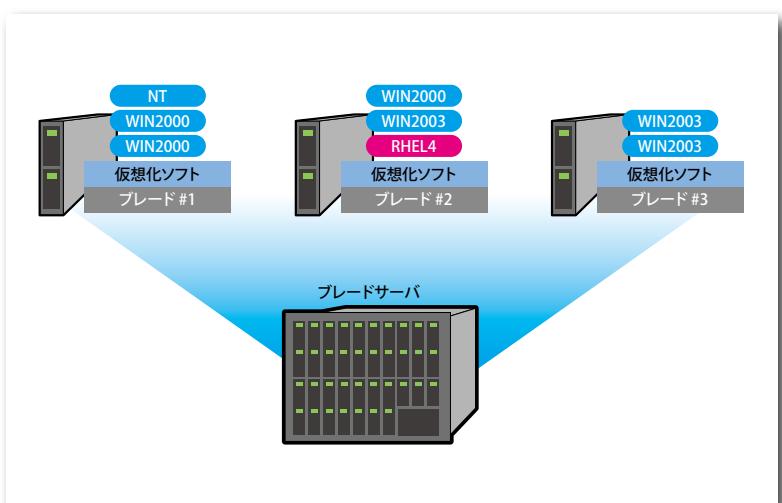
ブレードサーバと仮想化技術におまかせ

まるで複数台のサーバがあるように動作

仮想化では、物理サーバの中で複数の仮想サーバを動作させます。これまで多くのサーバで稼働していた業務を少数のサーバに集約することが可能になります。

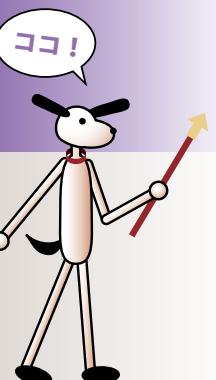
仮想化ソフトウェアがサーバを管理

仮想化ソフトウェアがサーバ全体を管理します。これまで使っていた環境が、仮想環境に移行します。



P.10

仮想化で
資産が活きる！



開発・テスト環境の構築がタイヘンで…



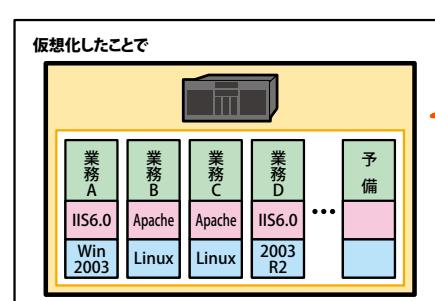
仮想化によって手軽に構築できます

開発・テスト環境の共存や、仮想環境の複製も可能

複数の開発・テスト環境を1台の物理サーバーに構築することができます。サーバを切り替えることなく、異なるOSでのテストを同時に進められるなど、作業効率が上がります。仮想環境をコピーして新たな仮想サーバを起動して、別のテストを行うことも容易になります。

旧OSを最新ハードウェア上で稼働

仮想化を利用すれば、サーバが新しくなっても、業務アプリケーションを使い続けることができます。



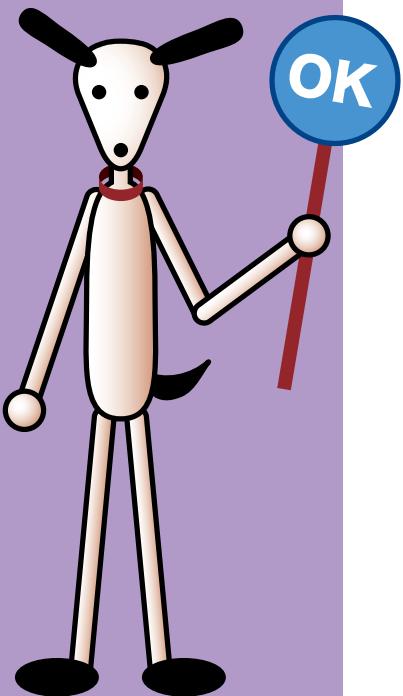
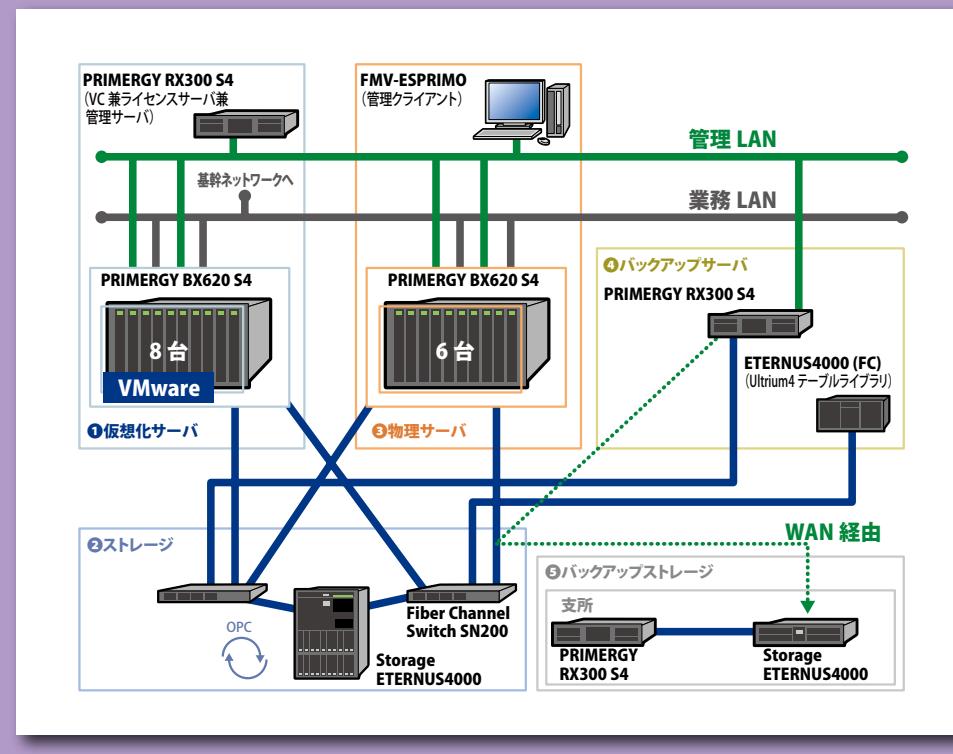
事例でみるブレードサーバのメリット

150台余にまで増えたサーバを、ブレード+仮想化で再構築 H社様

H社様は、業務システムの拡張でサーバが150台余にまで増えてしまったため、サーバ台数増による消費電力や管理負荷の増加、サーバ移行時の設置スペース不足という課題を抱えていました。そこで、ブレードサーバの採用と仮想化環境によるサーバ統合で、2012年（平成24年）度までに、サーバ台数を大幅に減らし、それによって設置スペース・消費電力・管理負担も大幅に減らすことを目標にサーバの再構築を計画しています。また、仮想化によって、リソースの有効活用とサーバの柔軟な運用も目標としました。

この目標を達成するためのハードウェア構成は、手始めにブレードサーバシャーシに、VMware Infrastructure 3を搭載した物理サーバの「PRIMERGY BX620 S4」サーバブレードを8台設置、それぞれがストレージ「ETERNUS4000 M300」にSAN接続されています。

現在は、稼働中の150台余りの物理サーバのうちの2台をVMware Infrastructure 3で仮想化しています。その他のサーバも、更新時期に合わせて、順次、仮想化環境で稼働させる方針です。H社様は仮想化を積極的に推進し、サーバ管理負荷とIT関連コストの削減にさらに取り組んでいく考えです。



富士通のブレードサーバは、ここがポイント！

ビジネスのあらゆるシーンで活躍する高性能ブレード型PCサーバ

PRIMERGY BX920 S1

PRIMERGY BX620 S5



ラック型のシャーシ(7U)に10枚搭載



ラック型のシャーシ(10U)に最大18枚搭載

富士通の仮想化対応PCサーバは、サーバ統合や仮想化技術によるすばやいサーバ構築ができ、運用の効率化やコスト削減を実現します。クラウド・コンピューティング・サービスなど、ITシステムの大きな変化にも柔軟に対応できます。グローバル品質とワンストップサポートでお客様に確かな競争力と成長力をご提供いたします。

富士通の導入／保守・運用支援サービス

富士通の高品質なITインフラの導入、サポート体制

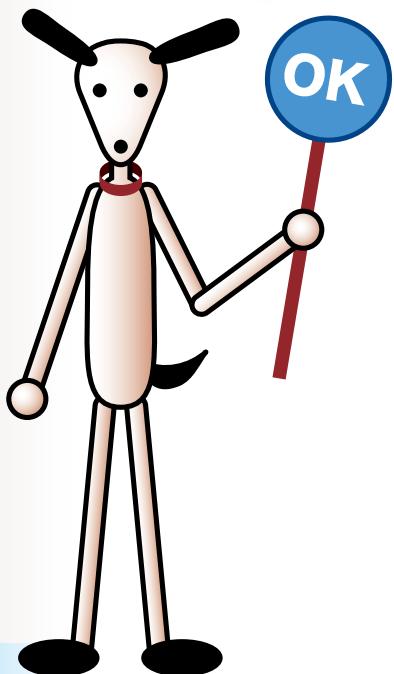
富士通では、ブレードサーバ導入から、
保守・運用支援サービスまで、
高品質なサポートをお客様にご提供してまいります。

富士通では
ITインフラの
幅広い導入・
運用支援体制を
整えています

富士通では、ブレードサービスを導入されたお客様のために、導入支援サービスと保守・運営支援サービスをご提供しております。また、プラットフォームソリューションセンターを開設し、お客様のITシステム構築を支援しております。

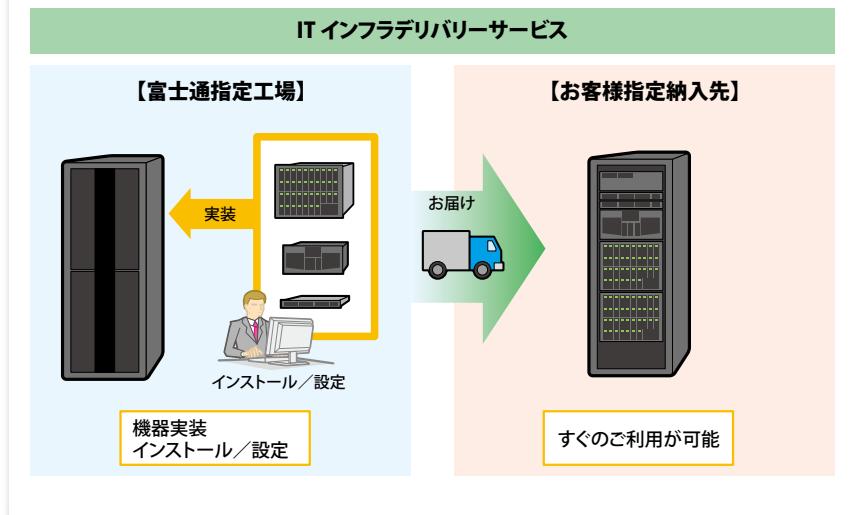
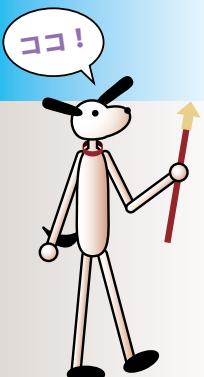
導入支援サービス

富士通では、2つの導入支援サービスをご提供しております。ひとつは工場でOS／各種ソフトウェアインストール、動作確認などを行う「ITインフラデリバリーサービス」です。もうひとつは、お客様のオフィスなどにおうかがいしてシステム導入を行う「システムスタートアップサービス」です。どちらも、お客様のニーズにあわせてご利用いただけます。



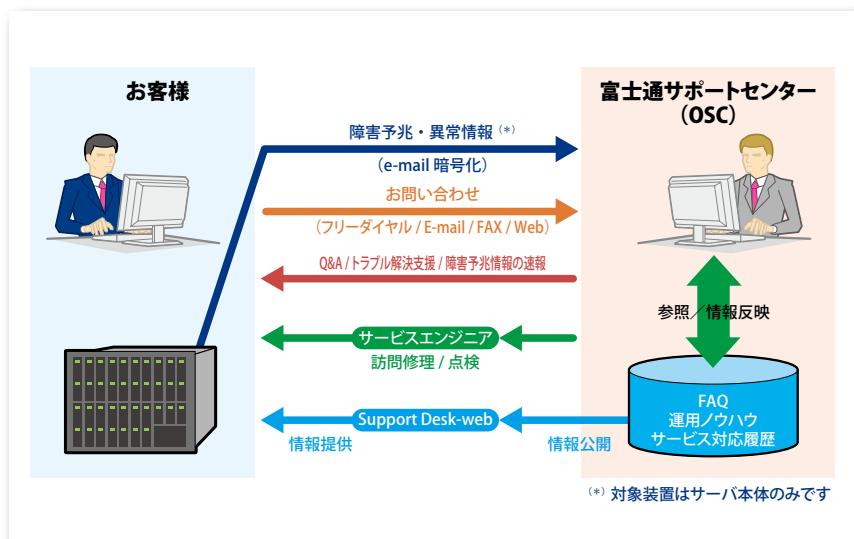
P.12

富士通の
導入／保守・
運用支援サービス



保守・運用支援サービス SupportDesk (サポートデスク)

お客様に安心してシステムをお使いいただくために、保守・運用支援サービス「SupportDesk」をご提供します。システムの可用性／重要度に応じたサービスメニューをご用意。高品質・迅速なサポートと、富士通がこれまでに蓄積した豊富なシステム運用支援の経験と技術により、お客様システムの安定稼働を強力に支えます。





プラットフォームソリューションセンター

お客様のシステムの事前検証からプレゼンテーションまで、充実したサービスを提供

Platform Solution Centerは、富士通の最新のITインフラを備えた国内最大規模のショールーム／検証センターです。富士通はお客様ビジネスの「機敏性」「効率性」「継続性」を支える、変化に強い柔軟なITシステム構築を支援します。

センターでは、サーバ統合、仮想化技術などのITインフラ最適化や、導入後のライフサイクルを通した統合管理による運用効率を最適化するソリューションなどを、実機による検証・性能実証、デモンストレーション、セミナーなどの各種サービスでご体感いただけます。

ショールーム

センターの各サービスにより、ITインフラ（プラットフォーム製品）の実機見学やソリューション、ITサービスをご体感いただけます。



展示、検証サーバ



談話スペース

センター見学サービス

サーバ、ストレージ、ネットワーク製品の実機展示やブレードサーバにフォーカスしたソリューションの紹介など、設計／開発、運用における先進テクノロジーを訴求するグリーンITコーナーをご覧いただけます。



プレゼンテーションルーム

デモンストレーションサービス

デモンストレーションサービスでは、ブレードサーバによる業務継続の実現、ブレードサーバと仮想化技術で実現する効率的なサーバ集約など本冊子でご紹介した項目をご覧いただけます。



静脈認証装置

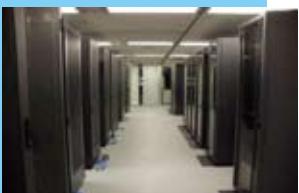
検証センター

専門技術者が、お客様システムの検証／評価をサポートします。

多様なサーバ・ストレージをご用意し、ご希望に近い環境でご利用いただけます。サーバ／ストレージの設定・OSインストール・ネットワーク接続までセンターで実施し、すぐに作業を開始できます。センターは、物理的に独立したネットワークで構成されていますので、お客様のデータを安心してお持ち込みいただけます。また、サーバルームには手のひらによる静脈認証装置、検証ルームにはICカード認証装置を導入しています。これらにより高いセキュリティシステムを実現し、安心して検証作業が行えます。



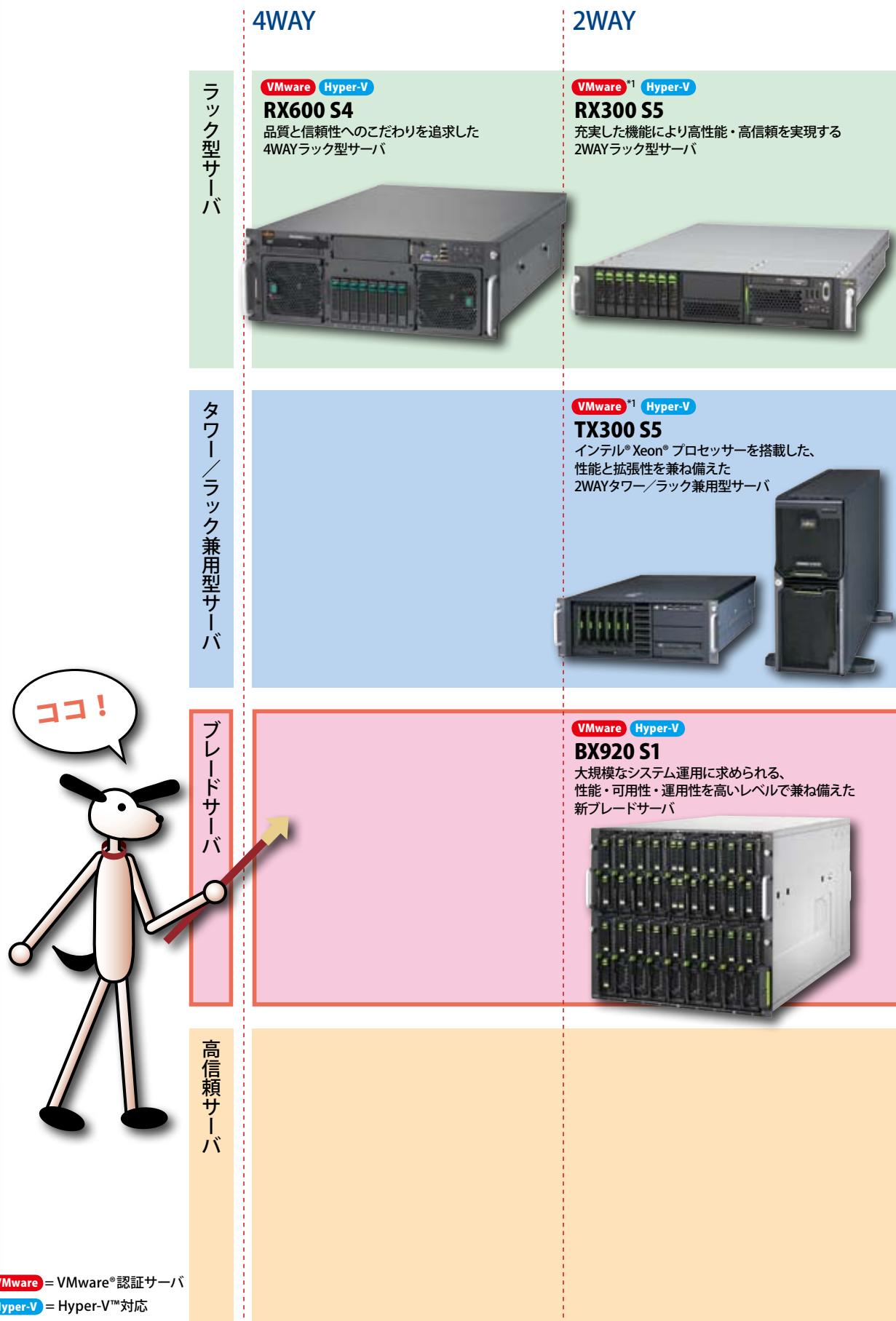
検証ルーム



サーバルーム

PCサーバ PRIMERGY ラインナップ

富士通PCサーバ PRIMERGY(プライマジー)は、
お客様のソリューションに最適な製品ラインナップを提供しています。



P.14

PCサーバ
PRIMERGY
ラインナップ

VMware = VMware®認証サーバ
Hyper-V = Hyper-V™対応

*1 SASモデルのみVMware®認証サーバ
*2 次の場合は、Hyper-V™機能は未サポートです。TX100 S1でインテル® Pentium® プロセッサーE5200またはインテル® Celeron® プロセッサー430搭載時、TX120 S2でインテル® Celeron® プロセッサー575搭載時、TX150 S6でインテル® Core™2 Duo プロセッサーE7400搭載時、RX100 S5でインテル® Core™2 Duo プロセッサーE7400またはインテル® Celeron® プロセッサー430搭載時。

1WAY

VMware Hyper-V

RX200 S5

省スペース化を追求しながら
高い信頼性を実現した
高さ1Uの2WAYラック型サーバ



Hyper-V^{*2}

RX100 S5

インテル® Xeon® プロセッサーを搭載した
高さ1Uの1WAYラック型サーバ

Hyper-V^{*2}

TX100 S5

静音設計で静かな
オフィス運用を実現する
1WAYタワー型サーバ

コンパクトサーバ

Hyper-V^{*2}

TX120 S2

低消費電力と静かさを追求した
高信頼1WAYコンパクトサーバ



VMware^{*1} Hyper-V

TX200 S5

インテル® Xeon® プロセッサーを
搭載し、拡張性に優れた2way
タワー/ラック兼用型サーバ



Hyper-V^{*2}

TX150 S6

静音設計で静かな
オフィス運用を実現する
1WAYタワー型サーバ

タワー型サーバ

Hyper-V^{*2}

TX100 S1

コストパフォーマンスに優れ、
オフィス利用に最適な1WAYエントリーサーバ



VMware Hyper-V

BX620 S5

インテル® Xeon® プロセッサーを搭載した
高性能2WAYブレードサーバ



TX300HA S5

クアッドコアに対応し、高可用性を実現する
2WAY高信頼サーバ



TX300FT S5

冗長電源/ファンを標準搭載した、
高信頼サーバ





- Intel、インテル、Pentium、Intel Core、Xeon、Celeronは、米国インテル社の登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-Vは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国および他の国における登録商標または商標です。
- VMwareはVMware, Inc.の米国および他の国における登録商標または商標です。
- 記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。
- 商品には、定期的に交換が必要な部品が含まれており、交換には別途費用が必要となります。なお定期点検を含むSupport Desk契約では、定期点検時に本部品の予防交換を実施し、商品を良好な状態に保ちます。
- 商品の保守サポート期間は、お客様の購入後3年間です。
- 弊社からお客様指定場所へ機器を納入する場合、別途配送料が必要となります。納入地が複数に分かれる場合は、配送料が異なりますので、弊社営業または販売パートナーまで、お問い合わせください。
- 各種ドライバやBIOS、ファームウェア、添付ソフト等の最新モジュールを以下のダウンロードサイトにて提供しております。システム安定稼働のため、常に最新モジュールを適用して頂くことを推奨いたします。
- 尚最新モジュールのダウンロードおよび適用作業は、お客様自身で実施願います。(弊社作業をご依頼される場合は、有償にて承ります。弊社担当営業もしくは販売店までお問合せください)

*このカタログのハードディスク等の容量表記は1GB=1000³Byte換算値です。1GB=1024³Byte換算のものとは表記上同容量でも、実容量は少なくなりますのでご注意ください。

*周辺機器への接続については「PRIMERGYシステム構成図」等をご参照ください。

*本製品は日本国内仕様です。弊社では本製品に対する海外での保守サービスおよび技術サポートはおこなっておりません。

環境への取組み

■「スーパーグリーン製品」の提供

当社の厳しい環境評価基準「省資源化、リサイクル設計、化学物質含有/使用規制、省エネルギー、環境情報の提供など」をクリアした地球に優しい、環境への負荷の少ない「グリーン製品」として提供しています。BX620 S5、BX920 S1では、さらに省資源化、省エネルギー等の環境配慮レベルが極めて優れている「スーパーグリーン製品」として提供しています。

富士通の環境についての取り組みの詳細は、富士通ホームページ「環境活動をご覧ください」。<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>



Green
Policy
Innovation

■グリーン購入法への対応

2001年4月から施行のグリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)に基づく調達の2009年度基本方針(判断の基準)に対応しています。

■省エネルギー基準達成率

このカタログに記載した製品は省エネ法で2007年度までに達成しなければならない目標基準値を達成した製品です。製品毎のエネルギー消費効率は製品仕様一覧表をご覧ください。



■マニュアルの電子化

自然保護、環境への配慮により、紙資源の節約への貢献を目的として、従来の印刷マニュアルを必要最小限におさえ、電子データ(PDF)で提供しています。

廃棄・譲渡の際のハードディスク内データ消去について

ご使用になっていたPRIMERGYを廃棄・譲渡する際には、お客様の責任でハードディスクに記録された全データを消去することを強く推奨します。詳しくは、「インターネット情報ページ」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/note/>)をご覧下さい。

▲安全に関するご注意

ご使用の際は、マニュアルの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

水、湿気、湯気、はこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。
火災、故障、感電などの原因となることがあります。表示された正しい電源・電圧でお使いください。
本製品に選択することができるCD/DVDドライブはレーザーを使用しています。 [クラス1レーザ製品]

PRIMERGYについてのお問い合わせ、ご用命は、下記にお申し付けください。



プレードサーバをもっと詳しく知りたい方は

プレードは富士通

検索

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/blade/>

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン 0120-933-200
受付時間 9:00 ~ 17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター